

【暗唱聖句】「しかし、今は、わたしをここへ売ったことを悔やんだり、責め合ったりする必要はありません。命を救うために、神がわたしをあなたたちより先にお遣わしになったのです」創世記 45:5

【今週のポイント】

【日曜日・過去と向き合う】

ヨセフは獄中で給仕長の夢を解き明かしたことによりやがて牢屋を出ることができ、また王ファラオの夢も同様に解き明かすことによって王から高く信頼を得、エジプトのナンバー2（総理大臣のような地位）を与えられます。そして結婚をし、2人の子どもにも恵まれます。夢によって知らされたとおり、7年の飢饉が来る前に、7年の豊作が続き、穀物も十分蓄えることができました。このことはエジプト人のためのみならず、周辺の国々の人々を助けることにもなります。そして、思ってもみなかったことが起こるのです。何と、エジプトにヨセフの兄弟たちが助けを求めてやってきたのです。

「ヨセフの兄たちは来て、地面にひれ伏し、ヨセフを拝した」創世記 42:6

ヨセフが夢で見たとおり、兄たちはヨセフの前にひれ伏したのです。兄たちは、目の前にいる人物がヨセフだとは想像だにできなかったことでしょう。しかし、ヨセフは一目で兄たちだと気づきます。ヨセフは素知らぬ顔をしながら、兄たちに向かって厳しく、「お前たちは敵の回し者だ。手薄なところを探りに来たのだな」と言い、「家にいる弟と連れてこい」と言うのです。兄たちが自分にしたように一番小さな弟に酷いことをしていないか、弟が大切にされているのか試したのです。

ところでヨセフは兄弟の罪のゆえに、ただ一人、エジプトに売られ、父から遠く離れて、孤独の中を生きてきました。その結果、罪を犯した兄弟たちを救うことになるのです。兄たちは、自分たちが酷いことをしたヨセフに赦され、救われることになったとき、どのような気持ちがあったことでしょうか。創世記のクライマックスが始まろうとしています。このヨセフの姿の中に、私たちはイエス様の御姿を見るのです。イエス様は私たちの罪のゆえに売られ、父なる神から引き離され、十字架で死なれましたが、その結果、私たちの罪は赦され救われるのです。

【月曜日・お膳立て】

ヨセフは兄たちをいつ赦したのでしょうか。エジプトに来たときでしょうか。それともその前でしょうか。20年という歳月の間、憎しみをもち続けたわけではないでしょう。兄に対する憎しみの気持ちは、聖書のどこにも出てきません。おそらく、兄たちに再開する遥か前に赦していたのだらうと思われれます。憎しみや怒りは魂をむしばみ、神様との関係を破壊していきます。ヨセフは神様との純粋な関係を維持していたからこそ、エジプトで成功することができたのです。しかし、あの枯れた井戸で別れたときと同じ兄たちとの関係に戻りたいとは思いませんでした。だから、兄たちが変わったかどうか確かめる必要がありました。兄たちは、ヨセフから厳しいことを言われたとき、ヨセフが自分たちの言葉を理解しているとも気が付かず、こう言いあいました。

「ああ、我々は弟のことで罰を受けているのだ。弟が我々に助けを求めたとき、あれほどの苦しみを見ながら、耳を貸さずともしなかった。それで、この苦しみが我々にふりかかった。」創世記 42:21

自分たちがヨセフにしたことを忘れてはいなかった。ずっと罪責感を抱えていたことがわかりました。罪を犯されたヨセフが辛かったのはもちろんですが、罪を犯した兄たちも、心から罪責感が消えることはなかったのです。兄弟それぞれが辛い20年間を過ごしてきたのです。そこには平安はありませんでした。平安のない20年を過ごしてきたのです。ヨセフが彼らを赦し、和解する瞬間まで彼らに平安が訪れることはありませんでした。

【火曜日・赦し、そして忘れること】

怒りや憎しみをもち続けると、私たちの心はむしばまれていきます。何か酷いことをされた悲しみに加え、怒りと憎しみによって新たにマイナスの要素が加わるのです。だから赦すことは、私たちにとっても良いことなのです。ヨセフは兄たちの姿を見たとき、過去の辛い出来事を思い出したことでしょうか。復讐することもできたはずですが、しかし、

ヨセフは兄たちを赦すのです。そして、失った平和と安らぎを取り戻すのです。

イエス様は、赦すことがなぜ大切なのかについて、マタイ 18:21~35 のたとえ話の中で語っています。その中で、私たちは1万タラントの借金を帳消しにしてもらったものとして描かれています。1タラントは16年分の賃金に相当しますので、1万タラントは実に16万年分の賃金となります。つまり、お金には換えられない、ありえないほどの罪を赦してもらったのだということです。だから、人を赦しなさいと教えられたのです。それなのに、私たちはわずか100デナリ（100日分の賃金）を赦すことができないのです。私たちが他者を赦さなければ、神様からの赦しも無効となります。これは救われたいということの意味しています。

【水曜日・赦すためにすべきこと】

赦すことは簡単なことではありません。それは深く傷ついてしまったからです。この傷が癒されなければ、赦すことなどできないのです。傷が癒されるために、辛かったこと、悲しかったこと、傷ついたことを誰かに話すのは良いことです。吐き出すことによって癒されていきます。憎しみを吐き出すのではなく、辛かったこと、悲しかったことを吐き出すのです。それだけでかなり癒されるものです。時に、私たちはこの悲しみの聞き役になるかもしれません。聞くことも辛いときがありますが、そのとき、相手の心が癒されているのだと理解すると良いでしょう。しかし、本当の癒し主はイエス様です。イエス様は心の一番深いところにある傷に優しく触れて下さり、それを取り去って下さいます。これは奇跡ですが、奇跡は心の中で始まるのです。

また、イエス様は自分を十字架にかけた者達に対して、「父よ、彼らをお赦しください。自分が何をしているのか知らないのです」（ルカ 23:34）と言われました。相手が赦しを求めていなくても赦すことが大切だということです。そして、赦しは感情ではなく私たちの選択であることがわかります。

【木曜日・赦しの後に見出す休み】

創世記 45:4, 5 「わたしはあなたたちがエジプトへ売った弟のヨセフです。しかし、今は、わたしをここへ売ったことを悔やんだり、責め合ったりする必要はありません。命を救うために、神がわたしをあなたたちより先にお遣わしになったのです。

ヨセフは自分がヨセフであることを明かします。兄たちはどれほど驚いたことでしょうか。驚きの余り口がきけないほどであったと書かれてあります。ヨセフは続けてこう言います。

創世記 45:7 「神がわたしをあなたたちより先にお遣わしになったのは、この国にあなたたちの残りの者を与え、あなたたちを生き永らえさせて、大いなる救いに至らせるためです。」

ただ赦されているだけでなく、それが民を残す神のご計画だったと知らされて、もっと驚き、もっと嬉しかったことでしょう。自分たちが犯した過ちでさえ、主は用いて益に変えて下さったのです。主はヤコブにこう告げられました。

創世記 46:2, 3 「その夜、幻の中で神がイスラエルに、「ヤコブ、ヤコブ」と呼びかけた。彼が、「はい」と答えると、神は言われた。「わたしは神、あなたの父の神である。エジプトへ下ることを恐れてはならない。わたしはあなたをそこで大いなる国民にする。」

何と、大いなる国民とするとのアブラハムとの約束の成就是、エジプトで見るというのです。神様の約束の確かさと、その成就する過程は人間の考えを遥かに超えていることがわかります。ところで、ヤコブが亡くなった時、兄たちはエジプトに移り住んで17年が経過していましたが、ヨセフが過去の仕返しをするのではないかと不安になりました。ヨセフは、**50:19, 20** 「恐れることはありません。わたしが神に代わることができましようか。あなたがたはわたしに悪をたくらみましたが、神はそれを善に変え、多くの民の命を救うために、今日のようにしてくださったのです」といって安心させます。私たちも罪が赦されていないのではないだろうかと不安になることがあるかもしれません。そのとき、これまでの神様の不思議な人生の導きを思い出すことです。確かに導かれてきたことはわかることでしょう。それは赦されている証拠でもあるのです。